



教師にとって必要な研究とは

栗東市教育委員会 教育長 安土 憲彦

教師は常に最新の学習内容や教育方法について学び、自身の知識とスキルをアップデートする必要があります。教育の領域は常に絶えず進化しており、新しい教育理論や実践が登場しています。例えば、STEAM 教育、プロジェクトベースドラーニング等、新しい手法やアプローチについて研究し、実践に反映させることが重要です。

また、教師は児童生徒の発達や学習に関する研究を行うことで、より効果的な教育を提供することができます。教育心理学や臨床心理学の知識も取り入れ、児童、生徒の発達段階や学習スタイルを理解し、個別のニーズに合わせた指導を行うことも求められています。

チャット GPT に「教師にとって必要な研究とは」と入力すると、上記の答えが返ってきました。(一部省略、変更加筆) 新聞を読んでいると、「オープン AI」「ディープラーニング(深層学習)」に関わる記事が、連日掲載されています。また、職員の負担軽減のために、市の業務の一部で対話型 AI(人工知能)を本格的に導入する自治体も増えてきました。

ある大学では、「問題解決を AI に丸投げしない」などと学生たちに注意を呼びかけるメッセージを発信したそうです。先日、広島で行われた G7 サミットでは、著作権保護や偽情報対策などに関する見解を年内に取りまとめるよう検討され、今後、国際的な基準が示されることになるかもしれま

せん。

1人1台端末を利用し、学校や家庭で自由にアクセスできる環境をつくり出している今、このようなツールを子どもたちが利用していくことは当然予想されます。

さあ先生方どうでしょうか。規制をかけますか?(無理だと思いますが) 文科省も何らかのガイドラインを策定するそうですが、1人1台端末を与えておいて、そのような状況になるとは予想していなかったとは言わせません。

今までにも、何らかの文章を作成するときや自分の意見をまとめるときには、参考となる資料や、引用した事例などがあつたはずで。あるいは誰かと相談したり仲間と議論したりしながら意見を深めていったことも多かったと思います。AI をよき相談相手として、パートナーとして活用していく方が未来的ではないでしょうか。

最後に「安土憲彦を知っていますか」と入力すると

はい、安土憲彦は日本の作家であり、評論家でもあります。彼は 1961 年に生まれ、東京都出身です。代表作「変幻自在の天才」や「文学者の脳」などがあります。また、小説家としても活躍しており、「光る海」や「妻の友人」などの作品があります。……

生まれ年以外はまったく身に覚えがありません。AI をまるっぽ信じてしまうのはよくない例も示してくれました。

【令和5年度 栗東市立教育研究所 運営概要図】

栗東市 教育方針

心豊かに たくましく生きぬく人材の育成

教育研究所

基本方針

栗東市教育方針に沿って、教育の今日的な課題の究明
及び解決に努め、栗東市教育の振興・充実に資する。

研究事業

非認知能力の育成を 目指す実践調査研究

「非認知能力の育成を
目指す授業づくり」
～効果的なギミック
(仕掛け)を通して～

- ①自分を高める力
 - ②自分と向き合う力
 - ③他者とつながる力
- の育成を目指す授業づ
くりの検討・授業実践・
アセスメント。効果的な
ギミックの提案

今日的課題の
究明・解決

研修事業

教職員研修講座

就学前教育、小・中学校
教育、一般教育、特別支援
教育等に関する内容

教育研究奨励事業

保育者・教職員の自発
的な教育研究活動の促
進。研究の進め方等に
関する指導

就学前保育教育 内容研修事業

信頼される園づくりのた
めに、保育倫理の確立、保
育の計画性、実践力等の
専門性の向上

指導力を
高める

渉外・啓発

渉 外

- 「くりちゃんチャレンジ」
運営のための連携
- 関係機関との連携
- ・県内教育研究所協議会
- ・県総合教育センター
- ・近畿地区教育研究(修)
所連盟

啓 発

- ・「教育研究所だより」
の発行とホームページ
への掲載
- ・プログラミング教材の
提供
- ・教育研究奨励論文集
の収録とホームページ
への掲載

関係機関との
連携

第21回 栗東市教育研究発表大会

研究奨励事業結果発表及び表彰・研究論文発表・調査研究発表・教育講演会

保育者・教職員の資質向上をめざします



令和5年度栗東市立教育研究所調査研究 概要の紹介

研究員 本郷 美緒

【研究主題】

非認知能力の育成を目指す授業づくり ～効果的なギミック(仕掛け)を通して～

【現状と課題】

◆児童・生徒

- ・消極的な態度(生活面・学習面)
- ・最後まで課題に取り組む困難さ
- ・他者とのトラブルの増加



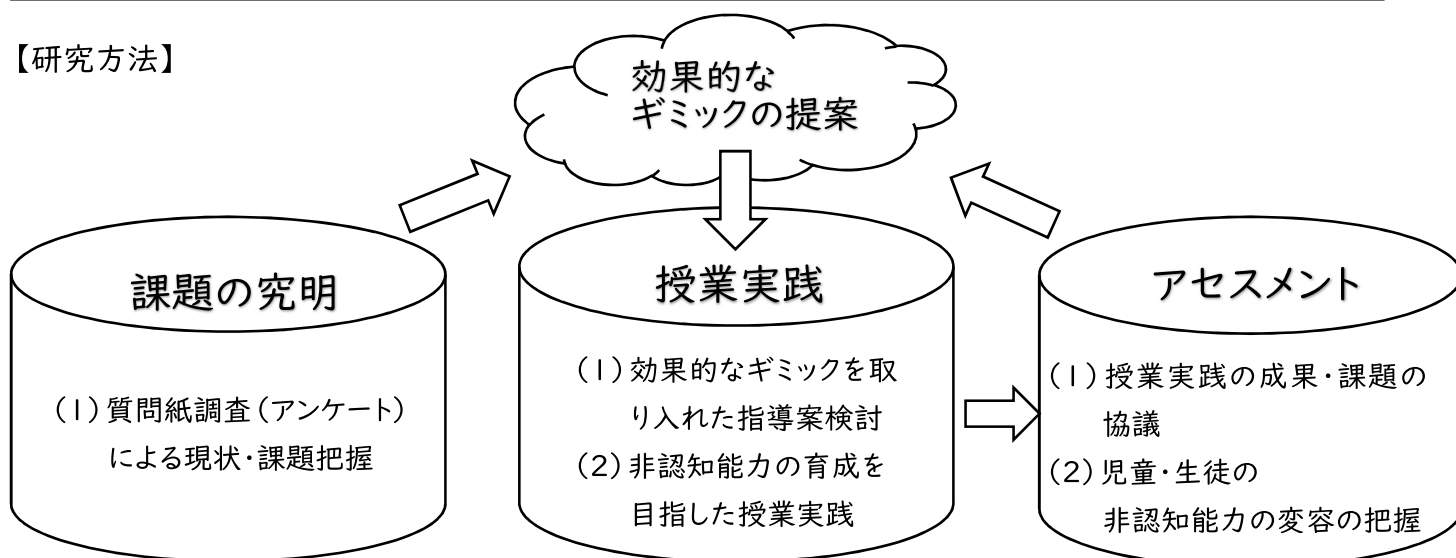
◆教職員

- ・非認知能力の育成の困難さ
- ・アセスメント・評価等の困難さ

【研究仮説】

効果的なギミックを取り入れ「非認知能力」を伸ばすことを意識した授業を実践すれば、子どもたちは、「自分を高める力」「自分と向き合う力」「他者とつながる力」を高め、よりよく生きる力を身に付けることができるだろう。

【研究方法】



【目指す姿】

◆児童・生徒

①自分を高める力

自分をさらに良い状態にするために必要な力

- *向上心
- *自尊心
- *楽観性



②自分と向き合う力

自分の気持ちや状態を落ち着かせるために必要な力

- *自制心
- *忍耐力
- *俯瞰力(全体像をとらえる力)

③他者とつながる力

他者と協同するために必要な力

- *敬意・尊重
- *受容・共感
- *相互理解



◆教職員

①授業づくりを通しての指導力向上

②アセスメントを通しての児童・生徒との信頼関係の構築





教育研究所 運営委員の紹介

市内の園長会、校長会、主任会、教務主任会の各代表の先生方に運営委員をお願いし、教育研究所の運営を展開していきます。運営委員の先生方をご紹介します。

園長会代表	葉山東幼稚園	園長	斎木 真奈美
校長会代表	大宝小学校	校長	坂東 靖記
主任会代表	治田西幼稚園	主任	迎 薫
教務主任会代表	治田小学校	主幹教諭	五藤 章
教務主任会代表	大宝東小学校	教諭	森 紀人
教務主任会代表	栗東西中学校	教諭	大埜 剛

◆今年度は、新型コロナウイルスの感染状況に留意しつつ、「夏期研修講座」や「教育研究奨励事業」を積極的に進めていきたいと思ひます。教育研究所の研修講座等にご参加ください。

◆保育・教育に役立つ講座等が提供できるように研究所運営を推進していきます。

教育研究所 所員の紹介

所 長	高野 崇	参 事	安岡 寛
副 所 長	小幡 庫士		
★研修・研究係長	橋本 三左	研修・研究係長	山口 敏生
研修・研究係長	梅田 薫	研修主事	森下 一司
研修主事	森 聡	研修主事	松田 愛
研修主事	辻 顕史	研修主事	國松 恵里
研修主事	井上 裕司	研究員	本郷 美緒
★学 務 係	井沢 多郎	吉川 しのぶ	武田 育大
★学習支援員	豊田 有希	森田 佳恵	

〒520-3088 栗東市安養寺一丁目 13-33

栗東市教育委員会事務局内

TEL 077-551-0130 ・ FAX 077-551-0149

E-mail kenkyusho@city.ritto.lg.jp

